

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成19年11月29日(2007.11.29)

【公開番号】特開2006-166341(P2006-166341A)

【公開日】平成18年6月22日(2006.6.22)

【年通号数】公開・登録公報2006-024

【出願番号】特願2004-358359(P2004-358359)

【国際特許分類】

<i>H 04 N</i>	<i>5/238</i>	<i>(2006.01)</i>
<i>G 03 B</i>	<i>7/093</i>	<i>(2006.01)</i>
<i>G 03 B</i>	<i>7/28</i>	<i>(2006.01)</i>
<i>H 04 N</i>	<i>5/243</i>	<i>(2006.01)</i>
<i>H 04 N</i>	<i>101/00</i>	<i>(2006.01)</i>

【F I】

<i>H 04 N</i>	<i>5/238</i>	<i>Z</i>
<i>G 03 B</i>	<i>7/093</i>	
<i>G 03 B</i>	<i>7/28</i>	
<i>H 04 N</i>	<i>5/243</i>	
<i>H 04 N</i>	<i>101:00</i>	

【手続補正書】

【提出日】平成19年10月17日(2007.10.17)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

撮像画面に結像される入射光を光電変換する撮像手段と、

前記撮像手段から読み出したデータから輝度情報を抽出する輝度情報抽出手段と、

前記輝度情報に基づき算出される露出制御を行うデバイスの目標制御値と、その時点で撮像装置に設定されている該デバイスの制御値との比較によって算出される該デバイスの制御量が、予め定められた制御量よりも、小さくなるように制限する露出調整手段と、を有することを特徴とする撮像装置。

【請求項2】

前記輝度情報に基づき算出される露出制御を行うデバイスの目標制御値と、その時点で撮像装置に設定されている該デバイスの制御値との比較によって算出される該デバイスの制御量が所定値以上の場合は、該デバイスの制御量を該所定値に設定してから該デバイスを動作させることを特徴とする請求項1に記載の撮像装置。

【請求項3】

前記デバイスとは、前記撮像手段への入射光量を制御する入射光量制御手段と、該撮像手段への露光時間を制御する露光時間制御手段と、該撮像手段から読み出したデータを増幅する増幅手段、のうちの少なくとも何れかであることを特徴とする請求項1乃至2に記載の撮像装置。

【請求項4】

前記デバイスの制御量とは、前記入射光量制御手段による入射光量変化量と、前記露光時間制御手段による露光時間変化量と、前記増幅手段による増幅変化量、のうちの少なくとも何れかであることを特徴とする請求項1乃至2に記載の撮像装置。

【請求項 5】

撮像画面に結像される入射光を光電変換する撮像工程と、
前記撮像工程から読み出したデータから輝度情報を抽出する輝度情報抽出工程と、
前記輝度情報に基づき算出される露出制御を行うデバイスの目標制御値と、その時点で
撮像装置に設定されている該デバイスの制御値との比較によって算出される該デバイスの
制御量が、予め定められた制御量よりも、小さくなるように制限する露出調整手段と、を
有することを特徴とする撮像装置の制御方法。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0004

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0004】

上記課題を解決し、目的を達成するために、本発明の撮像装置は、撮像画面に結像される入射光を光電変換する撮像手段と、前記撮像手段から読み出したデータから輝度情報を抽出する輝度情報抽出手段と、前記輝度情報に基づき算出される露出制御を行うデバイスの目標制御値と、その時点で撮像装置に設定されている該デバイスの制御値との比較によって算出される該デバイスの制御量が、該デバイスの制御量の限界値よりも、小さくなるように制限する露出調整手段と、を有することを特徴とする。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

また、上記課題を解決し、目的を達成するために、本発明の撮像装置の制御方法は、撮像画面に結像される入射光を光電変換する撮像工程と、

前記撮像工程から読み出したデータから輝度情報を抽出する輝度情報抽出工程と、前記輝度情報に基づき算出される露出制御を行うデバイスの目標制御値と、その時点で撮像装置に設定されている該デバイスの制御値との比較によって算出される該デバイスの制御量が、該デバイスの制御量の限界値よりも、小さくなるように制限する露出調整手段と、を有することを特徴とする。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】削除

【補正の内容】